

議案第14号

区議会提出議案に関する意見聴取  
(令和2年度一般会計(教育費)予算案及び令和2年度学校給食費会計予算案)

上記の議案を提出する。

令和2年2月10日

(提出者)

世田谷区教育委員会

教育長 渡部 理枝

(提案説明)

令和元年度一般会計(教育費)補正予算案(第4次)につき、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第29条に基づき区長から意見を求められたので、本案を提出する。

31世財第283号  
令和2年2月7日

世田谷区教育長  
渡部 理枝 様

世田谷区長  
保坂 展人

令和元年度一般会計（教育費）補正予算案（第4次）及び令和2年度一般会計（教育費）予算案並びに令和2年度学校給食費会計予算案の意見聴取について

標記の件について、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第29条の規定に基づき、下記のとおり貴委員会の意見を聴取いたします。

記

1. 件名

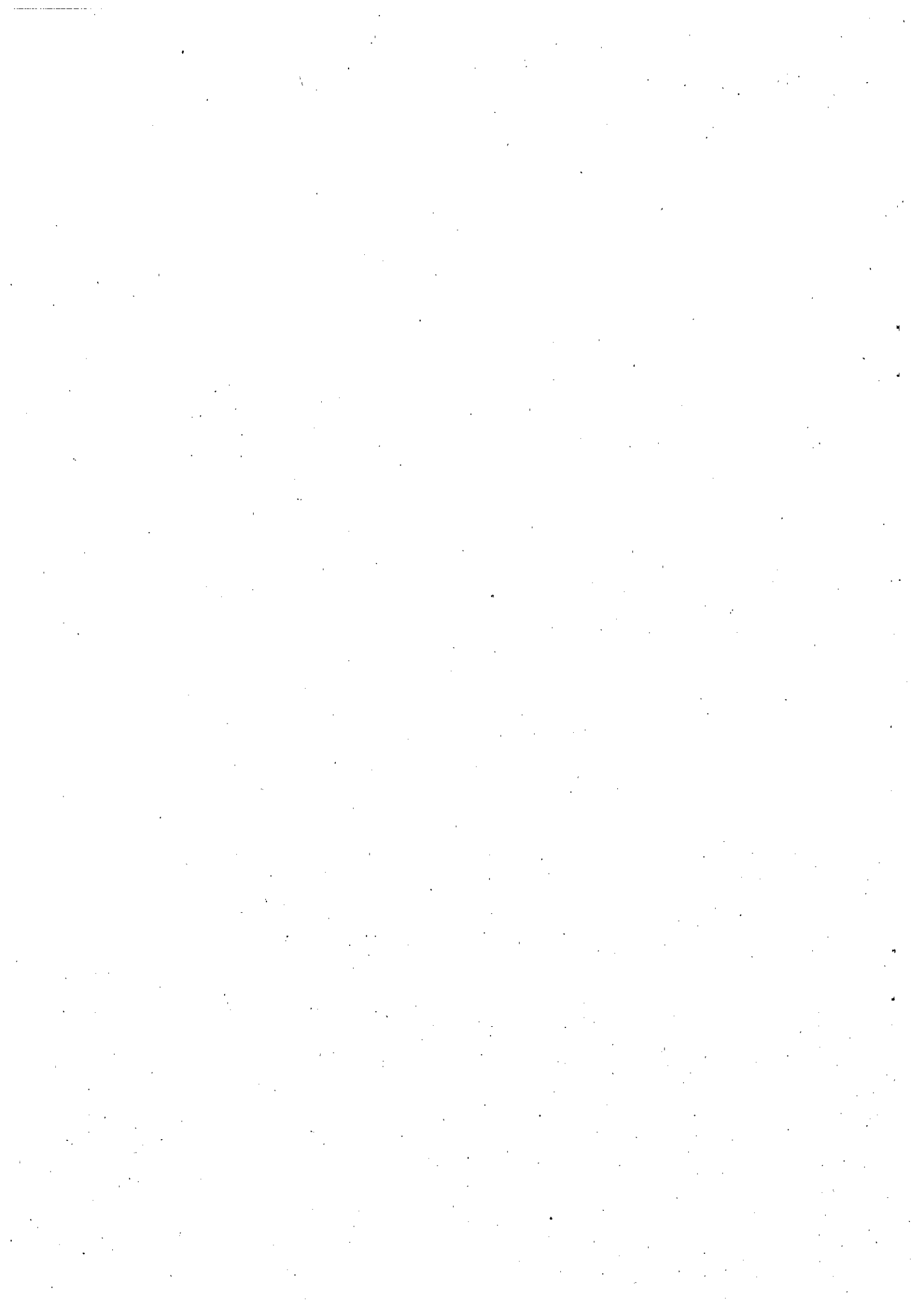
- ・令和元年度一般会計（教育費）補正予算案（第4次）
- ・令和2年度一般会計（教育費）予算案
- ・令和2年度学校給食費会計予算案



# 令和2年度 当初予算（案）概要 〔教育委員会所管分〕

※ 各表の数値および構成比は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。  
増減率1,000.0%以上については、-%で表示しています。

※ 文中における各種計画については、現在策定中のものを含みます。



# 令和2年度当初予算（案）概要

## I. 区全体について

### 1 予算編成の基本的考え方

令和2年度の経済見通しは、「雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が進展する中で、内需を中心とした景気回復が見込まれる。」とされています。一方で、災害からの復旧・復興と安全・安心の確保、経済の下振れリスクを乗り越えるため、令和元年度補正予算及び令和2年度予算の「15か月予算」による臨時・特別の措置を適切に組み合わせることにより、持続的な経済成長の実現につなげていくこととしています。こうした中、都内及び区内の景況感においては一部に改善が見られるものの、実質賃金や個人消費は伸び悩んでおり、また、米中貿易摩擦や中東情勢をはじめとした地政学リスクなどの海外経済の動向、金融資本市場の変動の影響など、今後の経済動向を引き続き注視していく必要があります。

令和2年度における世田谷区の財政見通しは、特別区税は、ふるさと納税を活用した他自治体への寄附額拡大により、70億円という著しい減収が見込まれつつも、人口増に伴う納税者数の増加等を踏まえて一定の増収を見込んでいます。また、地方消費税交付金は、消費税率の引上げによる増額を見込んでいます。一方で、特別区交付金は、児童相談所の運営にかかる基準財政需要額の増などを見込みつつも、税制改正における地方法人課税の見直しの影響などにより、財源である市町村民税法人分が大幅に減収となることから、前年度比で減額を見込んでいます。

こうした中、区は、台風被害を踏まえた災害対策の強化に最優先で取り組むとともに、基本構想に掲げる九つのビジョンの実現に向けた施策の推進や保育待機児対策への対応、増加する社会保障関連経費、児童相談所の開設、本庁舎等整備をはじめとした公共施設の改築・改修経費などの財政需要にも的確に対応する必要があります。

令和2年度当初予算編成にあたっては、事業手法の改善など不断の行政経営改革に取り組むとともに、より効果的な施策の実現に努めることを基本とし、施策の優先順位を見極めながら、事業の改善に取り組みました。

その上で、令和2年度当初予算編成においては、風水害を含む災害対策の強化や児童相談所の円滑な運営などの喫緊の課題に最優先で取り組むとともに、基本計画に掲げる重点政策を一層加速させることを目指しました。そのため、91万区民を災害から守る取組みを進め、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会を区民の参加と協働でより一層進める、「災害に備え、地域の力を育む予算」として編成しました。

## 2 令和2年度当初予算規模〔各会計当初予算（案）〕

（金額の単位：百万円）

会計区分		令和元年度	令和2年度		増減率
		金額	金額	増減額	
一般会計		319,308	327,735	8,426	2.6%
特別会計	国民健康保険事業会計	82,330	80,586	△1,745	△2.1%
	後期高齢者医療会計	21,326	21,861	535	2.5%
	介護保険事業会計	72,425	73,612	1,187	1.6%
	学校給食費会計	2,980	2,983	2	0.1%
合 計		498,370	506,776	8,405	1.7%

## 3 令和2年度一般会計当初予算について

令和2年度の一般会計当初予算は、前年度比84億円（2.6%）増の3,277億円となりました。

### （1）歳入予算の概要

- 特別区税は、ふるさと納税の拡大による減収を見込みつつも、納税者数の増加など踏まえ、14億1,300万円増の1,254億6,200万円としました。
- 特別区交付金は、児童相談所の運営にかかる基準財政需要額の増などを見込みつつも、地方法人課税の見直しの影響などにより、財源である市町村民税法人分が大幅に減収となることを踏まえ、△3億4,400万円減の534億9,400万円としました。
- 国庫支出金・都支出金は、幼児教育無償化に伴う増などを踏まえ、一定の増を見込みました。
- 繰入金は、本庁舎等整備や学校改築・改修経費、道路整備などの事業計画に基づき、各特定目的積立基金からの計画的な活用を行いました。  
なお、年度間の財政調整のための財政調整基金からの繰入れは行っていません。
- 特別区債は、本庁舎等整備や学校改築・改修経費などに活用し、発行額を前年度比△4億6,000万円減の103億4,000万円としました。

一般会計 歳入

(金額の単位：百万円)

区 分		令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	構成比	増減額	増減率
一般財源	特別区税	124,049	125,462	38.3%	1,413	1.1%
	特別区交付金	53,838	53,494	16.3%	△344	△0.6%
	譲与税・その他交付金	20,848	25,743	7.9%	4,895	23.5%
	繰入金 (財政調整基金、減債基金)	986	894	0.3%	△92	△9.3%
	その他	2,584	1,346	0.4%	△1,238	△47.9%
	一般財源 計	202,305	206,939	63.1%	4,635	2.3%
特定財源	国庫支出金	50,885	54,317	16.6%	3,432	6.7%
	都支出金	26,492	30,783	9.4%	4,291	16.2%
	特別区債	10,800	10,340	3.2%	△460	△4.3%
	繰入金 (特定目的積立基金等)	7,212	6,495	2.0%	△717	△9.9%
	その他	21,614	18,859	5.8%	△2,754	△12.7%
	特定財源 計	117,003	120,795	36.9%	3,792	3.2%
歳入合計		319,308	327,735	100.0%	8,426	2.6%

## (2) 歳出予算の概要

各款別の歳出予算では、会計年度任用職員制度の導入により、これまで民生費や教育費などにそれぞれ計上していた非常勤職員及び臨時職員経費を「職員費」に計上することとしたため、職員費が前年度比27.6%、128億200万円の増、本庁舎等整備経費の増などにより、総務費が前年度比3.1%、9億5,900万円の増、清掃一部事務組合分担金の増などにより、環境費が前年度比4.2%、3億9,900万円の増、就労支援拠点事業経費の増などにより、産業経済費が前年度比2.7%、4,900万円の増となっています。一方、区立小学校の改築経費の減などにより、教育費が前年度比△7.8%、△21億6,900万円の減、梅ヶ丘拠点整備経費の減などにより、民生費が前年度比△0.8%、△11億5,200万円の減、財政調整基金積立金の減により、諸支出金が前年度比△92.4%、△9億8,600万円の減、道路用地取得経費の減などにより、土木費が前年度比△2.9%、△9億8,500万円の減、保健センター維持運営経費の減などにより、衛生費が前年度比△2.1%、△1億7,500万円の減となりました。

### 《6つの重点分野における主な事業》（予算額100,000千円以上）

#### 1. 健康・福祉

- ・ 地域包括ケアの地区展開
- ・ 高齢者施設整備助成
- ・ 介護人材確保・育成・定着支援の総合的推進
- ・ 認知症在宅支援の総合的推進
- ・ 高齢者の地域参加促進施策
- ・ 精神障害者施策の充実
- ・ 発達障害者施策の充実
- ・ 医療的ケアを必要とする障害児（者）への支援
- ・ 保健医療福祉総合プラザの運営
- ・ ロタウイルスワクチンの定期予防接種化

#### 2. 子ども若者

- ・ 児童相談所の開設
- ・ 保育待機児対策
- ・ 私立認可保育園等運営
- ・ 保育人材確保支援事業
- ・ 地域での子育て支援
- ・ 若者支援事業
- ・ 世田谷版ネウボラ

#### 3. 教育

- ・ 教育の情報化推進
- ・ 「世田谷9年教育」の定着と質の向上
- ・ 教育相談・特別支援教育の充実
- ・ 図書館ネットワークの整備・拡充
- ・ 教育総合センター
- ・ 学校の整備・改築等



#### 4. 暮らし・コミュニティ

- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み
- ・ スポーツの場の整備
- ・ 観光事業の推進
- ・ エネルギーをたくみに使うまち世田谷推進プロジェクト
- ・ 人権・男女共同参画の推進
- ・ 産業振興
- ・ 就労支援事業

#### 5. 安全・安心

- ・ 台風被害を踏まえた災害対策の強化
- ・ 地域防災力の向上
- ・ 防災情報通信システムの整備
- ・ 木造住宅密集地域の解消
- ・ 建築物耐震診断・補強工事

#### 6. 都市づくり

- ・ みどりのまちづくり
- ・ 災害に強い都市基盤の整備
- ・ 安全な道路環境の整備
- ・ 小田急線鉄道跡地利用（上部利用）の促進
- ・ 京王線沿線街づくり

一般会計 歳出

① 性質別

(金額の単位:百万円)

区分		令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	構成比	増減額	増減率
人件費	議員等報酬	598	604	0.2%	6	1.1%
	職員給料・手当等 職員・議員共済費等	42,458	55,163	16.8%	12,705	29.9%
	退職手当	4,188	4,293	1.3%	105	2.5%
	人件費 計	47,244	60,060	18.3%	12,816	27.1%
	うち会計年度任用職員	※9,800	11,621	3.5%	1,821	18.6%
行政運営費	扶助費	86,565	97,223	29.7%	10,658	12.3%
	公債費	5,700	5,398	1.6%	△302	△5.3%
	他会計繰出金	27,203	27,304	8.3%	101	0.4%
	その他行政運営費	102,897	95,420	29.1%	△7,477	△7.3%
	行政運営費 計	222,366	225,346	68.8%	2,980	1.3%
投資的経費	普通建設事業費	49,316	41,356	12.6%	△7,960	△16.1%
	普通建設(用地買収を除く)	39,709	32,140	9.8%	△7,569	△19.1%
	用地買収	9,607	9,216	2.8%	△391	△4.1%
	積立金	383	973	0.3%	589	153.9%
	投資的経費 計	49,699	42,328	12.9%	△7,370	△14.8%
歳出合計		319,308	327,735	100%	8,426	2.6%

※令和元年度の非常勤職員と臨時職員から令和2年度の会計年度任用職員に相当する部分を抜粋

② 款別

(金額の単位:百万円)

款	令和元年度 予算額	構成比	令和2年度 予算額	構成比	増減額	増減率
01 議会費	787	0.2%	774	0.2%	△13	△1.7%
02 総務費	31,267	9.8%	32,226	9.8%	959	3.1%
03 民生費	151,900	47.6%	150,748	46.0%	△1,152	△0.8%
04 環境費	9,605	3.0%	10,004	3.1%	399	4.2%
05 衛生費	8,209	2.6%	8,033	2.5%	△175	△2.1%
06 産業経済費	1,777	0.6%	1,825	0.6%	49	2.7%
07 土木費	34,524	10.8%	33,539	10.2%	△985	△2.9%
<b>08 教育費</b>	<b>27,800</b>	<b>8.7%</b>	<b>25,631</b>	<b>7.8%</b>	<b>△2,169</b>	<b>△7.8%</b>
09 職員費	46,373	14.5%	59,175	18.1%	12,802	27.6%
10 公債費	5,700	1.8%	5,398	1.6%	△302	△5.3%
11 諸支出金	1,067	0.3%	81	0.0%	△986	△92.4%
12 予備費	300	0.1%	300	0.1%	0	0.0%
合計	319,308	100.0%	327,735	100.0%	8,426	2.6%

#### 4 行政経営改革の取組み

人口構成など社会構造の変化や公共施設の老朽化などにより行政需要が大きく増加する中、持続可能な財政運営をめざし、新実施計画（後期）（平成30年度(2018年度)～令和3年度(2021年度)）における行政経営改革の視点に基づいて、行政コストの縮減とともに税外収入の確保など歳入面においても、より一層の行政経営改革に取り組みます。

効果額合計 13億3,700万円

- ふるさと納税対策の推進 8,400万円
  - ・ 目的と用途を明確化した寄附金の募集
  - ・ ふるさと納税PRキャンペーン「ふるセタ」の実施
  - ・ クラウドファンディングの活用など
- 区役所全体のエネルギー使用量の削減 3,600万円
  - ・ ECOステップせたがやの推進
  - ・ 街路灯LED化
  - ・ ESCOサービスの実施
- 官民連携の取組み 500万円
  - ・ 民間企業とタイアップした区政PR
  - ・ 自治体への民間人材派遣など
- 施策事業の効率化 3億4,800万円
  - ・ 補助金の見直し
  - ・ 情報化基盤の強化（クラウド・仮想化技術等の活用）
  - ・ 時代にあった業務改善の取組み（RPAの導入）
  - ・ 事業手法の見直しによる効率化
- 債権管理の適正化と収納率の向上 1,700万円
  - ・ 債権管理重点プランに基づく滞納整理の強化
- 公共施設等総合管理計画に基づく取組み 8億4,600万円
  - ・ 建物の長寿命化等による改築時期の延伸
  - ・ 複合化などによる面積縮減
  - ・ 仮設建築物の抑制
  - ・ 公共施設跡地の有効活用 など

## II. 教育委員会所管分について

### 1 一般会計 教育費（子ども・若者部予算〔2,893,239千円〕を除く）

教育委員会所管の教育費は、前年度より42億3,236万8千円減（前年度比15.7%減）の227億3,819万4千円となりました。

これは、令和2年度からの会計年度任用職員制度の導入により、前年度まで教育費に計上していた非常勤職員及び臨時職員にかかる人件費を職員費に一括して計上することとしたためです。ちなみに前年度の教育費、職員費、学校給食会計費の合計（322億6,657万1千円）と比較した場合には、今年度は8,215万5千円増の323億4,872万6千円（前年度比2.5%増）になります。

「第2次世田谷区教育ビジョン・第2期行動計画」の3年目を迎える令和2年度について、限られた財源の中で施策の優先順位付けと重点化を行うことで、時代の変化に対応した教育施策を積極的に展開していきます。

（金額の単位：千円）

	令和元年度 予算	令和2年度 予算	増減額	増減率
人件費	11,556	11,556	0	0.0%
行政運営費	19,263,554	16,370,137	△2,893,417	△15.0%
投資的経費	7,695,452	6,356,501	△1,338,951	△17.4%
合計	26,970,562	22,738,194	△4,232,368	△15.7%

#### （1）人件費

教育委員会委員報酬が該当します。前年度と同額です。

#### （2）行政運営費

事務局や学校の維持運営経費等、教育委員会所管事業の多数が該当します。

令和2年度予算については、教育の情報化推進、「世田谷9年教育」の定着と質の向上、教育相談・特別支援教育の充実、ほっとスクールの運営、海外教育交流などに予算を配分しております。また東京2020オリンピック・パラリンピック開催においては、体験の共有として東京2020大会応援事業やおもてなしプロジェクト事業などにも予算を配分しております。

#### （3）投資的経費

学校等、教育委員会所管施設の改築・改修、用地取得経費が該当します。

令和2年度予算については、一部改築工事（小学校1校）、増築工事（小学校3校）、教育総合センターの新築工事、梅丘図書館の改築工事を予定しております。令和2年度においては小学校の改修などの減要素があり、全体では前年度より約13億3,895万円の減（前年度比17.4%減）となりました。

※令和2年度の重点項目については、「4 重点項目（教育委員会分抜粋）」（10頁～12頁）を参照。

## 2 一般会計 職員費

(金額の単位：千円)

	令和元年度 予算	令和2年度 予算	増減額	増減率
学校職員費（人件費）	2,315,689	2,197,715	△117,974	△5.1%
教育職員費（人件費）	0	4,430,042	皆増	皆増
合計	2,315,689	6,627,757		

教育職員費は令和2年度から令まで教育費として計上していた事業課予算非常勤職員が会計年度任用職員制度への移行に伴い計上されたものです。

教育職員費においては、スクール・サポート・スタッフの配置校の拡大や特別支援教育巡回グループの設置にかかる予算を配分しております。

学校職員費は、学校に勤務する区職員、区立幼稚園の教育職員及び区費指導主事の給与等が該当します。学校職員費においては、再任用職員の活用等により、前年度より約1億1,700万円の減（前年度比5.1%減）となっています。

## 3 学校給食費会計

(金額の単位：千円)

	令和元年度 予算	令和2年度 予算	増減額	増減率
学校給食費会計	2,980,320	2,982,775	2,455	0.1%

小・中学校及び太子堂調理場で調理・提供する給食に関する経費が該当します。児童・生徒数の増加に伴い、前年度より約2,400万円の増（前年度比0.1%増）となりました。

#### 4 重点項目（教育委員会分抜粋）

※【新】は新規事業、【拡】は拡充事業を示す。

##### (1) 健康・福祉

項 目	内 容	予算額 (千円)
医療的ケアを必要とする障害児（者）への支援	区立小・中学校における医療的ケアが必要な児童・生徒への看護師配置	19,308

##### (2) 子ども若者

項 目	内 容	予算額 (千円)
新BOP学童クラブの実施時間延長モデル事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル校における実施時間の延長（5校）</li> <li>平日の実施時間を1時間延長（19時15分まで）</li> </ul>	16,545

##### (3) 教育

項 目	内 容	予算額 (千円)
教育の情報化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育用クラウド基盤の運用及び検証（BYOD）</li> <li>特別支援学級等におけるタブレットを活用した授業の充実 など</li> </ul>	1,166,354
「世田谷9年教育」の定着と質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT（e-ラーニング）の活用による中学生を対象とした家庭学習支援</li> <li>【拡】新聞を活用し、論理的な思考力・表現力等を育む教育活動（NIE） 中学校3年生での実施</li> <li>教員の指導力向上のための海外研修 など</li> </ul>	221,869

項 目	内 容	予算額 (千円)
教育相談・特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【新】特別支援教育巡回グループの設置 臨床心理士や教職員OB等による学校等への支援</li> <li>・医療的ケアが必要な児童・生徒への看護師配置（再掲）</li> <li>・自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）開設準備 R3 3校設置予定</li> <li>・特別支援教室拠点校の増設準備 R3 増設予定</li> </ul>	559,088
【拡】ほっとスクールの運営	<p>【拡】ほっとスクール希望丘の定員拡充 R元 35人程度→R2 50人程度</p>	83,060
図書館ネットワークの整備・拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅丘図書館改築工事（R2～R4） R4.12 開設予定 工事期間中は代替施設でのカウンター業務等を実施</li> <li>・（仮称）図書館カウンター下北沢の基本設計及び実施設計 R3 開設予定</li> </ul>	696,634
教育総合センター	<p>教育総合センターの新築工事（R2～R3） R3.12 開設予定</p>	961,742
海外教育交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【新】ポートランド教育交流</li> <li>・フィンランド教育交流</li> <li>・小・中学生姉妹都市交流事業 バンバリー市 ウィーン市ドゥブリング区</li> <li>・台湾高雄市との交流に向けた実施調査</li> </ul>	52,035
教員の負担軽減	<p>【拡】スクール・サポート・スタッフ（教員が子どもたちへの指導に、より注力するための負担軽減の人材）の配置校拡大 12校→30校</p>	65,786

項 目	内 容	予算額 (千円)
学校の整備・改築等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部改築工事 小学校 1 校 (松原)</li> <li>・増築工事 小学校 4 校 (塚戸、芦花、希望丘、松丘)</li> <li>・内部大規模改修工事</li> <li>・耐震補強工事</li> <li>・全小・中学校体育館への空調設備設置</li> <li>・校庭の人工芝生化 (試行) など</li> </ul>	4,829,661

#### (4) 暮らし・コミュニティ

項 目	内 容	予算額 (千円)
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連した取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020大会応援事業</li> <li>・おもてなしプロジェクト事業</li> </ul>	7,961
国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生の海外教育交流 (再掲)</li> </ul>	52,035

#### (5) 都市づくり

項 目	内 容	予算額 (千円)
みどりのまちづくり	幼稚園・小学校・中学校緑化	67,593

#### (6) 特別会計

項 目	内 容	予算額 (千円)
学校給食費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同調理場方式 7 校</li> <li>・自校、親子調理方式 83 校</li> </ul>	2,982,775



第2次世田谷区教育ビジョン 第2期行動計画	教育委員会事務局	予算額 4,791,763 千円	特定財源 534,095 千円	前年度増減 859,293 千円
--------------------------	----------	------------------	-----------------	------------------

**第2次世田谷区教育ビジョン(3つの基本方針)**  
**1 地域とともに子どもを育てる教育の推進 2 地域の社会を生きかかす教育 3 生涯を通じて学びの充実**

**第2期行動計画(平成30年度～令和3年度) ～4年間の主な取組項目～**

**地域の教育力をいかした学校の支援**  175,223千円

- 地域運営学校の充実
- 世田谷区「学校支援地域本部」の実施校の拡大
- 総合型地域スポーツ・文化クラブの支援
- 通学路の安全対策 など

**「世田谷9年教育」の推進**  1,912,751千円

- 一人ひとりの個性を伸ばす特別支援教育の推進
- いじめ防止対策及び不登校対策等の総合的な推進
- 英語教育の充実
- 教育の情報化推進(e-ラーニングなど)ICTを活用した学校教育の展開 など
- 【拡】新聞を活用した教育活動(NIE)の実施
- 学校生活の満足度調査(Q-U)の実施
- 心理教育相談員、支援要員の配置
- 【新】「特別支援教育巡回グループ」の設置
- 【拡】ほっとスクール「希望丘」の定員拡充
- 自閉症・情緒障害特別支援学級(固定学級)開設準備
- 特別支援教室拠点校の増設準備
- 医療的ケア児の支援 など

**教科「日本語」の推進** 50,443千円

- 教科用図書(改訂版)の全学年使用
- 指導者用教材(DVD)の製作 など

**家庭教育への支援と幼児教育の充実**  15,645千円

- 家庭教育への支援
- 幼児教育環境支援専門員の配置
- 乳幼児を対象とした文化・芸術体験事業の実施
- 小1サポートの配置 など

**家庭が子どもとかわる時間の拡充**  824,130千円

- 【拡】スクールサポートスタッフの配置
- 部活動支援員制度の充実
- 教育支援チームの運営 など

**才能や個性をはぐむ体験型教育の推進**  184,057千円

- オリリンピック・パラリンピック教育の推進
- 新・才能の芽を育てる体験学習の充実に向けた取組み
- 小学校遊び場開放の充実に向けた取組み
- オリリンピック・パラリンピックに向けた応援事業 など

**歴史・文化を次世代へ継承するための文化財の保存活用**  109,050千円

- 世田谷デジタルミュージアムの運営
- 「せたがや歴史文化物語」の取組みの推進 など

**世田谷の教育を推進する拠点づくり**  961,742千円

～教育総合センター～

- 教育総合センターの新築工事 R3.12 開設予定
- 教育総合センター移転計画策定 など

**知と学びと文化の情報拠点としての図書館の充実** 558,722千円

- 梅丘図書館改築工事 R4.12 開設予定
- (仮称)図書館カウンスター下北沢の基本設計及び実施設計 R3 開設予定 など



は第2期行動計画におけるリーダーディング事業

教育の情報化推進 ＜資料No. 9再掲＞	教育委員会事務局	予算額 109,806 千円	特定財源 0 千円	前年度増減 △ 34,061 千円
-------------------------	----------	----------------	-----------	-------------------

**主旨**

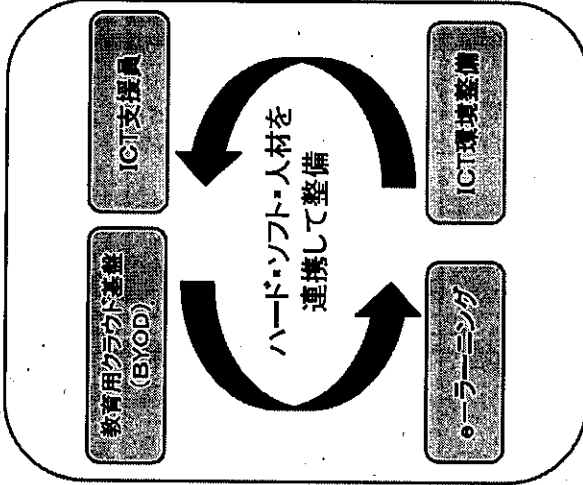
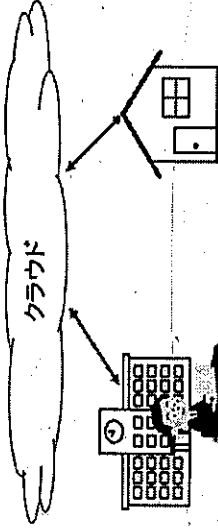
第2次世田谷区教育ビジョン（第2期行動計画）、世田谷区教育の情報化推進計画（第2期行動計画）を踏まえ、新学習指導要領に基づき、学習の個別最適化を推進し、情報活用力の育成を図るため、ICT環境を整備する。

**BYOD 予算額：64,941千円**

**教育用クラウド基盤の運用及び検証**

セキュリティを確保し、新しい技術に対応したクラウド基盤の運用・検証を進める。家庭から個人所有の情報通信端末を持ち込み学校の授業で活用可能とするBYOD\*の活用検証を中学校教員で取組む。

\*BYOD = Bring Your Own Device



**ICT支援員 予算額：16,089千円**

**円滑な授業実施にむけたICT支援**

ICT支援員の配置により、教職員間のICTスキルの向上を図り、分かりやすい効果的な授業を教職員が行えるように支援する。



**ICT環境整備 予算額：5,619千円**

**特別支援学級等におけるタブレットを活用した授業の充実**

特別支援学級等におけるタブレット型情報端末を活用した授業の充実を図り、誰一人置き去りにしない教育を推進する。



**教育総合センター**

教育総合センターは、子どもたちが未来社会（Society 5.0）を生き抜く力を身につけるため、これまでの学びを革新し、教育に関するデータ活用による研究成果や新たな授業スタイルを発信する拠点である。令和3年度の開設を見据え、ICT環境整備を段階的に進めていく。

**e-ラーニング 予算額：23,157千円**

**ICTを活用した学習支援の実施**

ICT（e-ラーニング）を活用した学習支援を、中学校29校全校で継続して実施する。生徒の家庭及び学校での学習を支援することにより、全体的かつ個に応じた学力の向上を図る。



学校の整備・改築等	教育委員会事務局	予算額 4,829,661 千円	特定財源 3,828,261 千円	前年度増減 △ 2,064,425 千円
-----------	----------	------------------	-------------------	----------------------

**学校施設の改築 予算額 726,519千円**

□…基本構想等、△…設計、☆…解体工事、○…建築工事、○…建築工事、\*…外構・校庭整備工事

学校名	R2	R3	R4	R5	R6
小学校					
池之上小学校(全面改築)	△	△☆	○	○*	
瀬田小学校(棟別改築)	△	△☆	☆○	○	☆*
砧小学校(全面改築)	□	△	△	☆*	○
中学校					
弦巻中学校(棟別改築)	△	△	☆○	○	○*
八幡中学校(棟別改築)	△	△	☆○	○	*

**学校施設の増築 予算額 1,186,939千円**

△…設計、○…建築工事、\*…外構・校庭整備工事

学校名	R2	R3
小学校		
希望丘小学校	○*	
芦花小学校	○*	
塚戸小学校	○	
松丘小学校	△○	○

**学校施設の一部改築 予算額 556,900千円**

☆…解体工事、○…建築工事

学校名	R2	R3
小学校		
松原小学校	☆○	○

**学校施設の改修 予算額 1,159,661千円**

主な内容	校数	学校名
内部大規模改修	1校	用賀小学校
トイレ改修工事	2校	玉川小学校 駒沢中学校
学級増に伴う改修工事	4校	世田谷小学校 武蔵丘小学校 等々力小学校(給食室) 砧南中学校

**学校施設の耐震改修工事 予算額 1,054,400千円**

内訳	校数	学校名
小学校	5校	代田、喜多見、東玉川、九品仏、三軒茶屋
中学校	10校	太子堂、緑丘、三宿、用賀、喜多見、尾山台、千歳、上祖師谷、蘆土、八幡

**体育館への空調設備設置 予算額 145,242千円**

内容	校数	機種	内訳
小学校 リース料	38校	EHP 20枚、GHP 18枚	
中学校 リース料	8校	EHP 5枚、GHP 3枚	

